

2025年度 大学院学生募集要項

博士前期課程	I 期入試	試験日：2024年9月28日（土）
	II 期入試	試験日：2025年2月11日（火・祝）
	特別入試 ^{*1}	試験日：2025年2月11日（火・祝） ^{*1} 経済学研究科のみ実施
博士後期課程		試験日：2025年2月11日（火・祝）



法学研究科	法律学専攻
外国語学研究科	ドイツ語学専攻
	英語学専攻
	フランス語学専攻
経済学研究科	経済・経営情報専攻

1. 大学院に関する情報（入試情報含む）について

随時、獨協大学ホームページに掲載しますので、定期的に確認をしてください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/graduateschool/>



大学院 HP

[留意点]

- ・授業科目及び担当教員の変更が生じる場合がありますので、出願前に必ず確認をしてください。
- ・感染症の状況や、不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表を実施することが困難であると本学が判断した場合は、延期等の対応措置をとることがあります。但し、このことに伴う受験者の個人的損害について、原則として本学は責任を負いません。なお、上記に関する対応や追加の連絡が生じた場合は、本学ホームページで周知しますので、必ず最新情報を確認してください。

2. 入学試験当日の公共交通機関の遅延について

入学試験当日に急な天候不良や、公共交通機関の乱れ・遅れが生じた場合は、試験開始時刻を繰り下げることがあります。試験当日に、試験の実施状況に変更が生じた場合は、大学ホームページにてお知らせいたします。

3. 入学試験実施における不測事態対応について

入学試験の際、震災等の不測事態により本学に受験生が長時間足止めされるような事態が生じた場合、構内に留まっている受験生を確認した後、受験番号を大学ホームページにてお知らせいたします。そのため、保護者、学費負担者などに、各自の受験番号を当日までに伝えておいてください。電話やメールによる個別のお問い合わせは、緊急通信の支障になるため、特に本学からの指示のない限りご遠慮ください。

4. 個人情報に関する取扱いについて

- ・出願及び入学手続きのためにお知らせいただいた住所・氏名・その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続き、統計、分析及びこれらに付随する事項を行うために利用します。
- ・お知らせいただいた個人情報は、上記の目的のみに利用し、本学がその業務を越えて利用することはありません。

問い合わせ先

獨協大学大学院事務室事務課

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1

daigakuin2@ml.dokkyo.ac.jp（送信の際は、必ず氏名・連絡先を本文に記載してください）

TEL 048-946-1666（直通） FAX 048-946-1722

開室日：平日 9：00～17：00（昼休み12：00～13：00）

閉室日：土曜・日曜・祝日・大学一斉休業日（お盆・年末年始）

目 次

0.	獨協大学大学院の教育目的・3つのポリシー	
0-1	博士前期課程	2
0-2	博士後期課程	3
1.	大学院入学試験概要	
1-1	入学試験制度一覧	4
1-2	選考日程	4
1-3	募集人員	5
2.	出願資格	
2-1	博士前期課程出願資格（一般入試、特別入試、社会人入試）	6
2-2	博士後期課程出願資格	8
2-3	個別の入学資格審査	9
3.	志望する指導教員との事前相談	
3-1	事前相談	10
3-2	事前相談の手順	10
3-3	2025年度専修科目（又は研究分野）・指導教員及び授業科目一覧	11
3-3-1	博士前期課程 法学研究科法律学専攻	11
3-3-2	博士前期課程 外国語学研究科ドイツ語学専攻	12
3-3-3	博士前期課程 外国語学研究科英語学専攻	13
3-3-4	博士前期課程 外国語学研究科フランス語学専攻	14
3-3-5	博士前期課程 外国語学研究科共通科目	15
3-3-6	博士前期課程 外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コース	16
3-3-7	博士前期課程 経済学研究科経済・経営情報専攻	17
3-3-8	博士後期課程 法学研究科法律学専攻	20
3-3-9	博士後期課程 外国語学研究科ドイツ語学専攻	21
3-3-10	博士後期課程 外国語学研究科英語学専攻	21
3-3-11	博士後期課程 外国語学研究科フランス語学専攻	21
3-3-12	博士後期課程 経済学研究科経済・経営情報専攻	22
4.	出願	
4-1	出願書類	23
4-1-1	法学研究科	23
4-1-2	外国語学研究科	24
4-1-3	経済学研究科	25
4-1-4	出願書類に関する注意事項	26
4-2	入学検定料の納入	27
4-3	出願方法	27
4-4	受験票等の交付	27
5.	入学試験	
5-1	試験当日の注意事項	28
5-2	選考方法	29
5-2-1	博士前期課程 法学研究科 一般入試、社会人入試	29
5-2-2	博士前期課程 外国語学研究科 一般入試、社会人入試	30
5-2-3	博士前期課程 経済学研究科 一般入試、社会人入試、特別入試	31
5-2-4	博士後期課程 法学研究科 博士後期課程入試	32
5-2-5	博士後期課程 外国語学研究科 博士後期課程入試	32
5-2-6	博士後期課程 経済学研究科 博士後期課程入試	32
6.	合格発表、入学手続	
6-1	合格発表	33
6-2	入学手続、入学辞退	33
6-3	奨学金制度	35
7.	大学指定様式	36
	入学志願票① 法学研究科博士前期課程・博士後期課程共通 一般入試・博士後期課程入試	37
	入学志願票② 法学研究科博士前期課程 社会人入試	39
	入学志願票③ 外国語学研究科博士前期課程 一般入試	41
	入学志願票④ 外国語学研究科博士前期課程英語学専攻 社会人入試	43
	入学志願票⑤ 外国語学研究科博士前期課程英語学専攻英語教育専修コース（1年コース） 社会人入試	45
	入学志願票⑥ 外国語学研究科博士後期課程 博士後期課程入試	47
	入学志願票⑦ 経済学研究科博士前期課程・博士後期課程共通 一般入試・博士後期課程入試	49
	入学志願票⑧ 経済学研究科博士前期課程 社会人入試	51
	入学志願票⑨ 経済学研究科博士前期課程 特別入試	53
	研究計画書 博士前期課程・博士後期課程共通（行数・枚数は研究科・課程により異なる）	55
	修士論文又はこれに準ずる論文の概要 博士後期課程共通	57
	研究業績リスト 外国語学研究科博士後期課程	59
	小学校から現在に至るまでの履歴書及び記入例	61
	Access、キャンパスマップ	裏表紙

0. 獨協大学大学院の教育目的・3つのポリシー

0-1 博士前期課程

(理念・目的)

獨協大学大学院は、学術の理論及び応用を教授・研究し、精深な学識と研究能力を養い、又は、高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養い、もって文化の進展に寄与することを目的とする。

博士前期課程は、学部における一般的及び専門的教養の基礎の上に、広い視野に立ってさらに専攻分野を研究し、その分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを教育目的とする。

学位授与方針 (DP)

(学位授与要件、学位の種類)

本大学院は、修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査又は特定課題研究の審査及び最終試験に合格し、以下の研究能力又は高度の専門性を修得した者に「修士（専攻分野を付記）」の学位を授与する。

(学位の裏付けとなる「能力」)

1. 専攻分野を研究し、研究倫理を有し、その分野における研究能力（学識、課題設定能力、調査力、分析能力及び論文執筆能力）又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力（知識・技能、課題設定能力、調査力、思考力及びレポート作成能力）を身に付けている。
2. 一般的及び専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って国際社会・地域社会を多角的、専門的に理解する能力を身に付けている。

教育課程の編成・実施方針 (CP)

広汎な講義科目、専門的な演習科目及び論文執筆又は特定課題研究に係る指導により、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことができるカリキュラムを編成する。

入学者受け入れ方針 (AP)

(求める人物像)

本大学院では、獨協大学及び本大学院の教育目的に共感し、専攻分野における研究能力を高めようとする人物、又は修得した高度の専門性を活かし、社会に貢献しようとする人物を求める。

(出願要件)

大学卒業（当該年度末卒業見込みを含む）又はそれに相当する資格と学力を要する。

(入学者選抜方法)

書面、筆記、口述試験により、専門知識、外国語能力、志望動機、学修・研究意欲を問う。

各研究科の3つのポリシーについては、獨協大学ホームページ <https://www.dokkyo.ac.jp/about/openinfo/policy/> に掲載しています。

0-2 博士後期課程

(理念・目的)

獨協大学大学院は、学術の理論及び応用を教授・研究し、精深な学識と研究能力を養い、又は、高度の専門性を要する職業等に必要能力を養い、もって文化の進展に寄与することを目的とする。

博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

学位授与方針 (DP)

(学位授与要件、学位の種類)

本大学院は、修業年限を満たし、所定の単位を取得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査及び最終試験に合格し、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な以下の高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を修得した者に「博士（専攻分野を付記）」の学位を授与する。

(学位の裏付けとなる「能力」)

1. 専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力として、高い専門的倫理、高度に専門的な技能、極めて高度な調査力及び学術的に高度な研究論文執筆能力を身に付けている。
2. 上記の能力の基礎となる、総合的、専門的、学際的な豊かな学識を身に付けている。

教育課程の編成・実施方針 (CP)

広汎かつ高度な講義科目、専門的な演習科目及び論文執筆に係る指導により、専攻分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことができるカリキュラムを編成する。

入学者受け入れ方針 (AP)

(求める人物像)

本大学院では、獨協大学及び本大学院の教育目的に共感し、専攻分野において、研究者として自立して研究活動を行おうとする意欲を有する人物、又は高度な研究能力・知識を獲得し、高度に専門的な業務に従事する意欲を有する人物を求める。

(出願要件)

大学院博士前期課程（修士課程）修了（当該年度末修了見込みを含む）又はそれに相当する資格と学力を要する。

(入学者選抜方法)

書面、筆記、口述試験により、高度な専門知識、外国語能力、志望動機、学修・研究意欲を問う。

各研究科の3つのポリシーについては、獨協大学ホームページ <https://www.dokkyo.ac.jp/about/openinfo/policy/> に掲載しています。

1. 大学院入学試験概要

1-1 入学試験制度一覧

入試制度名			法学研究科	外国語学研究科				経済学研究科
			法律学専攻	ドイツ語学専攻	英語学専攻	英語学専攻 (英語教育専修 コース)	フランス語学 専攻	経済・経営情報 専攻
博士前期課程	Ⅰ期入試	一般入試	○	○	○	－	○	○
		社会人入試	○	－	○	○	－	○
	Ⅱ期入試	一般入試	○	○	○	－	○	○
		社会人入試	○	－	○	○	－	○
	特別入試		－	－	－	－	－	○
博士後期課程	博士後期課程入試		○	○	○	－	○	○

1-2 選考日程

入試制度名			出願期間 (郵送・消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間 (郵送・消印有効)
博士前期課程	Ⅰ期入試	一般入試	8月26日(月)～ 9月4日(水)	9月28日(土)	10月3日(木)	1回目： 10月4日(金)～ 10月15日(火) 2回目： 2月14日(金)～ 2月27日(木)
		社会人入試				
	Ⅱ期入試	一般入試	1月7日(火)～ 1月15日(水)	2月11日(火・祝)	2月14日(金)	2月14日(金)～ 2月27日(木)
		社会人入試				
	特別入試					
博士後期課程	博士後期課程入試		1月7日(火)～ 1月15日(水)	2月11日(火・祝)	2月14日(金)	2月14日(金)～ 2月27日(木)

1-3 募集人員

博士前期課程

研究科	専攻	コース	I 期入試	II 期入試	特別入試
法学	法律学	－	5 名		－
外国語学	ドイツ語学	－	2 名		－
	英語学	－	6 名		－
	英語学	英語教育専修			－
	フランス語学	－	2 名		－
経済学	経済・経営情報	経済・経営	2 名		
		情報	1 名		

※各専攻すべての入学試験併せての人数です。

博士後期課程

研究科	専攻	博士後期課程入試
法学	法律学	3 名
外国語学	ドイツ語学	1 名
	英語学	2 名
	フランス語学	1 名
経済学	経済・経営情報	1 名

2. 出願資格

2-1 博士前期課程出願資格

〔一般入試〕 法学研究科・外国語学研究科・経済学研究科共通

次の（１）から（１２）のいずれかに該当する者及び2025年３月31日までに該当する見込みの者。

- （１） 大学（専門職大学及び短期大学を除く）を卒業した者
- （２） 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- （３） 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- （４） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- （５） 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （６） 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- （７） 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- （８） 文部科学大臣の指定した者
- （９） 本大学院において、個別の入学資格審査^{注1}により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- （10） 大学に３年以上在学した者で、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したものの^{注2}と本大学院において認めた者
- （11） 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本大学院の定める単位を優秀な成績^{注2}で修得したものと本大学院において認めた者
- （12） 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本大学院の定める単位を優秀な成績^{注2}で修得したものと本大学院において認めた者

注１ 「2-3 個別の入学資格審査」(P. 9)を参照。

注２ 獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面の連絡先参照）にお問い合わせください。

「見込み」による志願者については、入学試験に合格した後、2025年３月31日まで出願資格を満たすことができないことが確定した場合は、入学の資格を取り消します。

【特別入試】経済学研究科のみ

次のいずれかに該当する者。

- (1) 2022年度又は2023年度に大学（専門職大学及び短期大学を除く）を卒業した者（学部不問）
- (2) 2025年3月31日までに大学を卒業する見込みの者（学部不問）

「見込み」による志願者については、入学試験に合格した後、2025年3月31日まで出願資格を満たすことができないことが確定した場合は、入学の資格を取り消します。

【社会人入試】法学研究科、外国語学研究科英語学専攻、経済学研究科のみ

次の（1）から（11）のいずれかに該当し、入学する年の4月時点において、大学卒業（又はそれと同等）後3年を経過した者。加えて、外国語学研究科英語学専攻においては、下表（表1：外国語学研究科英語学専攻が定める資格）を満たすこと。

- (1) 大学（専門職大学及び短期大学を除く）を卒業した者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査^{注1}により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- (10) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本大学院の定める単位を優秀な成績^{注2}で修得したものと本大学院において認めた者
- (11) 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本大学院の定める単位を優秀な成績^{注2}で修得したものと本大学院において認めた者

注1 「2-3 個別の入学資格審査」(P. 9)を参照。

注2 獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面の連絡先参照）にお問い合わせください。

（次頁に続く）

表1：外国語学研究科英語学専攻が定める資格

【英語学専攻（標準修了年限2年）】 上記出願資格を満たし、次のいずれかの資格を有する者（資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る）。 ・TOEIC[®] Listening & Reading Test 850点以上取得 ・TOEFL iBT[®] テスト 96点以上取得 ・実用英語技能検定試験1級取得
【英語学専攻英語専修コース（標準修了年限1年）】 上記出願資格を満たし、次の<u>すべて</u>に該当する者。 A：入学する年の4月時点で、専任・非常勤を問わず2年以上学校（学校教育法による）において、英語教育に携わっているか、又はその経験がある者 B：英語教育研究の実績を有する者 C：次のいずれかの資格を有する者（資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る） ・TOEIC[®] Listening & Reading Test 850点以上取得 ・TOEFL iBT[®] テスト 96点以上取得 ・実用英語技能検定試験1級取得

2-2 博士後期課程出願資格

次の（1）から（8）のいずれかに該当する者及び2025年3月31日までに該当する見込みの者。加えて、外国語学研究科英語学専攻においては、下表（表2：外国語学研究科英語学専攻が定める資格）を満たすこと。

- （1） 修士の学位又は専門職学位を有する者
- （2） 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- （3） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- （4） 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- （5） 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- （6） 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- （7） 文部科学大臣の指定した者
- （8） 本大学院において、個別の入学資格審査^{注1}により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

注1 「2-3 個別の入学資格審査」（P. 9）を参照。

表2：外国語学研究科英語学専攻が定める資格

上記出願資格を満たし、英語能力を証明する次のいずれかの資格を有する者（資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る）。 ・TOEIC[®] Listening & Reading Test 850点以上取得 ・TOEFL iBT[®] テスト 96点以上取得 ・実用英語技能検定試験1級取得

「見込み」による志願者については、入学試験に合格した後、2025年3月31日まで出願資格を満たすことができないことが確定した場合は、入学の資格を取り消します。

2-3 個別の入学資格審査

個別の入学資格審査を希望する者は、審査に必要な様式等をお送りしますので、事前に獨協大学大学院事務室事務課宛にメールにてご連絡ください。必要書類を揃えて下記受付期間に提出（郵送・必着）してください。

入試種別	受付期間（郵送・必着）	審査結果通知発送日
博士前期課程Ⅰ期入試（一般入試・社会人入試）	7月8日（月）～7月22日（月）	7月31日（水）
博士前期課程Ⅱ期入試（一般入試・社会人入試） 博士前期課程特別入試 博士後期課程入試	11月29日（金）～12月10日（火）	12月20日（金）

【必要書類】

	法学研究科	外国語学研究科	経済学研究科
①個別の入学資格審査申請書（本学指定様式）	○	○	○
②最終学歴の証明書※ （卒業（見込）、修了（見込）、在籍期間がわかるもの）	○	○	○
③最終学歴の成績証明書※	○	○	○
④博士前期課程志望者：大学を卒業した者と同程度の資質を証明する業績一覧 博士後期課程志望者：修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の資質を証明する業績一覧	—	○	○
⑤年齢が確認できる公的な証明書（パスポート、住民票等）	—	—	○

※出身校が発行する英語又は日本語による証明書の原本を提出してください。やむを得ず、それ以外の言語で作成された証明書しかない場合は、以下の2点を揃えて提出してください。

- ① 日本語又は英語以外の言語で作成された証明書（原本）
- ② 大使館・公証処等の公的機関で認証を受けた日本語又は英語の訳文の原本

在日大使館で翻訳公証を行っていない国・地域もあります（例：中国など）。その場合は、本国で翻訳公証を受け取る必要がありますので、余裕を持って準備をしてください。なお、在日大使館が法定翻訳を請け負っている場合は、それを提出することも可能です。

【中国国内の教育機関を卒業・修了（見込を含む）の場合】

中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の関係文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証は行っていません。

中国国内で発行された各種証明書の公証・認証手続きは、中国国内のCHSI（教育部学歴認証センター：北京市）もしくはCHSIの日本代理機構、各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）に申請してください。なお、本国への認証申請に必要な資料や、書類発行までにどれくらいの時間を要するか等、事前によく確認し、期日に間に合うよう余裕をもって準備してください。

中国高等教育学生信息网「CHSI」 <https://www.chsi.com.cn/>

中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構 <http://www.chsi.jp/>

【注意事項】

- a. オンライン認証報告書は、認証機関（CHSI）より獨協大学大学院事務室事務課へ直送する手続きを取ってください。直送されたもののみ有効とします（オンラインシステムから自分で出力したものや、志願者本人が受領し本学へ転送した証明書は無効とします）。
- b. 電子認証報告メール送信先は、下記の通りです。認証報告のメールが直接本学へ受付期間最終日（上記参照）までに送付されるようにしてください。
電子認証報告メール送信先：獨協大学大学院事務室事務課 daigakuin2@ml.dokkyo.ac.jp
- c. 申請が完了しましたら、氏名、審査を希望する研究科・課程・専攻名、個別の入学資格審査希望であること、申請受付が完了したことが分かる証明画面等を、獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面の連絡先参照）までお送りください（郵送・メールどちらでも可）。

3. 志望する指導教員との事前相談

3-1 事前相談

本学大学院では、入学後の研究分野のミスマッチを防ぐために事前相談を奨励しています。指導を受けたい教員の研究分野と自分の研究テーマが合致しているかを事前相談等を踏まえ、出願してください。

なお、事前相談は特に期限は設けていませんが、大学が長期休業に入ると返信に時間を要するため、時間的余裕を持って相談してください（出願開始日直前に相談いただいた場合、出願締切日までに対応できない場合があります）。また事前相談は、あくまでもミスマッチを防ぐためのものであり、入学を保証するものではありません。

3-2 事前相談の手順

- (1) 本学大学院ホームページ (<https://www.dokkyo.ac.jp/graduateschool/>) で担当教員紹介及びシラバスを確認し、自分の研究テーマと合致しそうな教員がいないか確認する。
- (2) 本要項の各専攻の「専修科目（又は研究分野）及び指導教員」に志望する教員の氏名が掲載されているか、該当ページで確認する（掲載されていない場合は、指導教員として指導を受けることができません）。

課程	研究科・専攻	該当ページ
博士前期	法学研究科法律学専攻	P.11
	外国語学研究科ドイツ語学専攻	P.12
	外国語学研究科英語学専攻	P.13
	外国語学研究科フランス語学専攻	P.14
	外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コース	P.16
	経済学研究科経済・経営情報専攻	P.17
博士後期	法学研究科法律学専攻	P.20
	外国語学研究科ドイツ語学専攻	P.21
	外国語学研究科英語学専攻	P.21
	外国語学研究科フランス語学専攻	P.21
	経済学研究科経済・経営情報専攻	P.22

- (3) 研究計画概要（使用言語：日本語又は英語）を Word 文書（A4用紙 1 枚程度／書式自由）に記載する。

【記載項目】

- ・氏名（フリガナ）
- ・連絡先（メールアドレス、日中連絡が取れる電話番号（携帯電話も可））
- ・現在の所属名（学校、勤務先等）
- ・志願する課程、研究科・専攻
- ・研究計画概要（本学大学院における研究活動の計画、課程を修了後の進路（予定）も含めて記入してください）
- ・志望する指導教員名
- ・出願を検討している入試種別・試験日（一般入試、社会人入試、特別入試）
- ・その他（事前に確認したいこと等）

- (4) 獨協大学大学院事務室事務課宛にメール送信する。

送信先：獨協大学大学院事務室事務課 daigakuin2@ml.dokkyo.ac.jp

メール件名：志望する指導教員との事前相談

メール本文：氏名・志望する指導教員名・出願を検討している入試種別・試験日を記載し、(3) で作成した Word ファイルを添付して送信してください。

3-3 2025年度専修科目（又は研究分野）・指導教員及び授業科目一覧

3-3-1 博士前期課程 法学研究科法律学専攻

専修科目及び指導教員

<注>入学志願票①②の「入学後の志望専修科目」「志望する指導教員名」はこの表から選んで記載すること（受験科目のA. 志望専修科目と同一であること）。

専修科目	指導教員	専修科目	指導教員
憲法	岡田 順太	刑事訴訟法	徳永 光
憲法	大藤 紀子	刑事政策	柴田 守
行政法	木藤 茂	知的財産権法	張 睿暎
教育法	安原 陽平	環境法	一之瀬高博
民法	藤田 貴宏	国際法	鈴木 淳一
民法	納屋 雅城	国際人権法	L.ベドリサ
商法	大川 俊	国際私法	山田 恒久
商法	吉川 信將	国際経済法	宗田 貴行
商法	高橋 均	国際政治学	岡垣 知子
民事訴訟法	小川 健	比較政治	作内 由子
刑法	関根 徹	地方自治	大谷 基道
刑法	神馬 幸一 2025年度休講(7/19掲載)	政治思想史	網谷 壮介
刑法	若尾 岳志	法哲学	野崎 亜紀子 (12/20掲載)

演習科目

科目	単位	担当者
法哲学演習	4	野崎 亜紀子 (12/20掲載)
日本法制史演習	4	休 講
英米法演習	4	休 講
憲法演習	4	岡田 順太
憲法演習	4	大藤 紀子
行政法演習	4	木藤 茂
教育法演習	4	安原 陽平
民法演習	4	藤田 貴宏
民法演習	4	納屋 雅城
商法演習	4	大川 俊
商法演習	4	吉川 信將
商法演習	4	高橋 均
民事訴訟法演習	4	小川 健
刑法演習	4	関根 徹
刑法演習	4	神馬 幸一 2025年度休講(7/19掲載)
刑法演習	4	若尾 岳志
刑事訴訟法演習	4	徳永 光
刑事政策演習	4	柴田 守
労働法演習	4	休 講
知的財産権法演習	4	張 睿暎
環境法演習	4	一之瀬高博
国際法演習	4	鈴木 淳一
国際人権法演習	4	L.ベドリサ
国際私法演習	4	山田 恒久
国際経済法演習	4	宗田 貴行
国際政治学演習	4	岡垣 知子
政治外交史演習	4	休 講
比較政治演習	4	作内 由子
政治学演習	4	休 講
地方自治演習	4	大谷 基道
政治思想史演習	4	網谷 壮介

講義科目

科目	単位	担当者
法哲学特殊講義	4	野崎 亜紀子 (12/20掲載)
日本法制史特殊講義	4	小柳春一郎（兼任）
英米法特殊講義	4	休 講
憲法特殊講義Ⅰ	4	休 講
憲法特殊講義Ⅱ	4	岡田 順太
憲法特殊講義Ⅲ	4	大藤 紀子
行政法特殊講義Ⅰ	4	山田 洋（兼任）
行政法特殊講義Ⅱ	4	木藤 茂
税法特殊講義	4	休 講
教育法特殊講義	4	安原 陽平
民法特殊講義Ⅰ	4	遠藤研一郎（兼任）
民法特殊講義Ⅱ	4	藤田 貴宏
民法特殊講義Ⅲ	4	納屋 雅城
民法特殊講義Ⅳ	4	小野 秀誠（兼任）
商法特殊講義Ⅰ	4	大川 俊
商法特殊講義Ⅱ	4	吉川 信將
商法特殊講義Ⅲ	4	高橋 均
民事訴訟法特殊講義Ⅰ	4	休 講
民事訴訟法特殊講義Ⅱ	4	小川 健
刑法特殊講義Ⅰ	4	中空 壽雅（兼任）
刑法特殊講義Ⅱ	4	関根 徹
刑法特殊講義Ⅲ	4	神馬 幸一 2025年度休講(7/19掲載)
刑事訴訟法特殊講義	4	若尾 岳志
刑事政策特殊講義	4	徳永 光
労働法特殊講義	4	柴田 守
知的財産権法特殊講義	4	石井 保雄（兼任）
環境法特殊講義	4	張 睿暎
国際法特殊講義Ⅰ	4	一之瀬高博
国際法特殊講義Ⅱ	4	鈴木 淳一
国際法特殊講義Ⅲ	4	休 講
国際人権法特殊講義	4	L.ベドリサ
国際私法特殊講義	4	山田 恒久
国際経済法特殊講義	4	宗田 貴行
国際政治学特殊講義	4	岡垣 知子
政治外交史特殊講義	4	福永 文夫（兼任）
比較政治特殊講義	4	作内 由子
政治学特殊講義	4	福永 文夫（兼任）
行政学特殊講義	4	大谷 基道
地方自治特殊講義	4	大谷 基道
政治思想史特殊講義	4	網谷 壮介

3-3-2 博士前期課程 外国語学研究科ドイツ語学専攻

研究分野及び指導教員

＜注＞入学志願票③にある「志望する研究分野・指導教員名」は、この表から選び記載すること。

研究分野	指導教員	研究分野	指導教員
ドイツ語教育	M.ラインデル	ドイツ文化	山本 淳
	境 一三		木村佐千子
ドイツ語学	金井 満		青山 愛香
	黒子 葉子 2025年度休講(12/12掲載)	ドイツ社会	上村 敏郎 2025年度休講(12/12掲載)
	相澤 啓一		伊豆田俊輔
ドイツ文学	渡部 重美 2025年度休講(11/26掲載)		M.ビティヒ
	矢羽々 崇	ドイツ文化	大重光太郎
	工藤 達也		常石 史子 (12/20掲載)

授業科目一覧

授業科目	授業内容	単位	担当者
ドイツ語教育研究	外国語としてのドイツ語教授法	4	M.ラインデル
	ドイツ語教育への応用技法Ⅰ	4	境 一三
	ドイツ語教育への応用技法Ⅱ	4	休 講
ドイツ語教育演習	外国語としてのドイツ語教授法	4	M.ラインデル
	ドイツ語教育への応用技法Ⅰ	4	境 一三
	ドイツ語教育への応用技法Ⅱ	4	休 講
ドイツ語学研究	ドイツ語語用論	4	金井 満
	ドイツ語応用言語学	4	黒子 葉子 2025年度休講(12/12掲載)
	日独翻訳・通訳論	4	相澤 啓一
ドイツ語学演習	ドイツ語語用論	4	金井 満
	ドイツ語応用言語学	4	黒子 葉子 2025年度休講(12/12掲載)
	日独翻訳・通訳演習	4	相澤 啓一
ドイツ文学研究	ドイツ語圏現代文学	4	渡部 重美 2025年度休講(11/26掲載)
	ドイツ語圏近代文学	4	矢羽々 崇
	ドイツ語圏近世文学	4	休 講
	中世ドイツ語・ドイツ文学	4	休 講
	ドイツ文学史研究法	4	工藤 達也
ドイツ文学演習	ドイツ語圏現代文学	4	渡部 重美 2025年度休講(11/26掲載)
	ドイツ語圏近代文学	4	矢羽々 崇
	ドイツ語圏近世文学	4	休 講
	中世ドイツ語・ドイツ文学	4	休 講
	ドイツ文学史研究法	4	工藤 達也
ドイツ文化研究 欄外に追記あり	ドイツ語圏の思想・芸術	4	山本 淳
	ドイツ語圏の音楽	4	木村佐千子
	ドイツ語圏の美術	4	青山 愛香
ドイツ文化演習 欄外に追記あり	ドイツ語圏の思想・芸術	4	山本 淳
	ドイツ語圏の音楽	4	木村佐千子
	ドイツ語圏の美術	4	青山 愛香
ドイツ社会研究	ドイツ語圏の歴史と社会	4	上村 敏郎 2025年度休講(12/12掲載)
	ドイツ語圏の政治と外交	4	伊豆田俊輔
	ドイツ語圏の現代社会	4	M.ビティヒ
	ドイツ語圏の経済	4	大重光太郎
ドイツ社会演習	ドイツ語圏の歴史と社会	4	上村 敏郎 2025年度休講(12/12掲載)
	ドイツ語圏の政治と外交	4	伊豆田俊輔
	ドイツ語圏の現代社会	4	M.ビティヒ
	ドイツ語圏の経済	4	大重光太郎

ドイツ文化研究・ドイツ語圏の映画とメディア・4・常石 史子(12/20掲載)

ドイツ文化演習・ドイツ語圏の映画とメディア・4・常石 史子(12/20掲載)

3-3-3 博士前期課程 外国語学研究科英語学専攻

研究分野及び指導教員

＜注＞入学志願票③④にある「志望する研究分野・指導教員名」は、この表から選び記載すること。

研究分野	指導教員	研究分野	指導教員
英語学	小早川 暁	コミュニケーション論	松本健太郎
	安井美代子		板場 良久
	船越 健志		柿田 秀樹
	青柳真紀子		浅岡千利世
英米文学	上野 直子	英語教育	E.本橋
国際関係論	金子 芳樹	英語表現法研究	羽山 恵
	水本 義彦 2025年度休講(12/12掲載)		
	永野 隆行		
	北野 収		A.ジェネス (12/20掲載)

授業科目一覧

授業科目	授業内容	単位	担当者
英語学研究	認知言語学	4	小早川 暁
	比較統語論	4	安井美代子
	生成文法理論	4	船越 健志
	音声学・音韻論	4	青柳真紀子
英語学演習	認知言語学	4	小早川 暁
	比較統語論	4	安井美代子
	生成文法理論	4	船越 健志
	音声学・音韻論	4	青柳真紀子
英米文学研究	近代英文学	4	前沢浩子 (2025年度は休講)
	米文学	4	原 成吉 (兼任)
	英米演劇	4	児嶋 一男
	現代英語文学	4	上野 直子
英米文学演習	近代英文学	4	前沢浩子 (2025年度は休講)
	米文学	4	休 講
	英米演劇	4	児嶋 一男
	現代英語文学	4	上野 直子
英語文化研究		4	休 講
英語文化演習		4	休 講
国際関係論研究	国際政治学Ⅰ	4	金子 芳樹
	国際政治学Ⅱ	4	水本 義彦 2025年度休講(12/12掲載)
	国際関係史	4	永野 隆行
	国際開発論	4	北野 収
国際関係論演習	国際政治学Ⅰ	4	金子 芳樹
	国際政治学Ⅱ	4	水本 義彦 2025年度休講(12/12掲載)
	国際関係史	4	永野 隆行
	国際開発論	4	北野 収
コミュニケーション論研究	コミュニケーション論	4	松本健太郎
	異文化間コミュニケーション論	4	板場 良久
	スピーチコミュニケーション論	4	柿田 秀樹
コミュニケーション論演習	コミュニケーション論	4	松本健太郎
	異文化間コミュニケーション論	4	板場 良久
	スピーチコミュニケーション論	4	柿田 秀樹
英語教育研究	外国語教育の理論と実践	4	浅岡千利世
	第二言語習得研究	4	E.本橋
	英語教育研究方法論	4	羽山 恵
英語教育演習	外国語教育の理論と実践	4	浅岡千利世
	第二言語習得研究	4	E.本橋
	英語教育研究方法論	4	羽山 恵
英語表現法研究	英語コミュニケーション (Academic Presentation Skills)	4	休 講
	英語コミュニケーション (Research Report Writing)	4	A.ジェネス (12/20掲載)

3-3-4 博士前期課程 外国語学研究科フランス語学専攻

研究分野及び指導教員

＜注＞入学志願票③にある「志望する研究分野・指導教員名」は、この表から選び記載すること。

研究分野	指導教員
フランス語学	田中 善英
	木田 剛
	B.ソゼド
フランス語教育	中村 公子
フランス文学	江花 輝昭
フランス思想	筒井 伸保
フランス文化	尾玉 剛士 2025年度休講(12/12掲載)
	廣田 愛理 2025年度休講(12/12掲載)
	阿部明日香
	藤田 朋久

フランス文学 熊木 淳(12/20掲載)

授業科目一覧

授業科目	授業内容	単位	担当者
フランス語学研究	フランス語統語論・意味論	4	休 講
	フランス語文法論	4	田中 善英
	現代フランス語運用論	4	休 講
	コミュニケーション論	4	木田 剛
	音声学・音韻論	4	B.ソゼド
フランス語学演習	フランス語文法論	4	田中 善英
	コミュニケーション論	4	木田 剛
	音声学・音韻論	4	B.ソゼド
フランス語教育研究	フランス語教育の理論と実践	4	中村 公子
フランス語教育演習	フランス語教育の理論と実践	4	中村 公子
フランス文学研究 欄外に追記あり	近代フランス文学Ⅰ	4	江花 輝昭
	近代フランス文学Ⅱ	4	休 講
フランス文学演習 欄外に追記あり	近代フランス文学Ⅰ	4	江花 輝昭
	近代フランス文学Ⅱ	4	休 講
フランス思想研究	近代フランス思想	4	筒井 伸保
フランス思想演習	近代フランス思想	4	筒井 伸保
フランス文化研究	フランスの政治	4	尾玉 剛士 2025年度休講(12/12掲載)
	フランスの経済	4	廣田 愛理 2025年度休講(12/12掲載)
	フランスの美術	4	阿部明日香
	フランスの歴史	4	藤田 朋久
フランス文化演習	フランスの政治	4	尾玉 剛士 2025年度休講(12/12掲載)
	フランスの経済	4	廣田 愛理 2025年度休講(12/12掲載)
	フランスの美術	4	阿部明日香
	フランスの歴史	4	藤田 朋久

フランス文学研究・現代フランス文学・4・熊木 淳(12/20掲載)

フランス文学演習・現代フランス文学・4・熊木 淳(12/20掲載)

3-3-5 博士前期課程 外国語学研究科共通科目

各専攻の科目のほかに、共通科目の中から各専攻が定める科目・単位を履修する。

授業科目	授業内容	単位	担当者
言語文化論	日本の言語文化	4	浅山 佳郎
言語学特殊研究	生成文法理論	4	安井美代子
比較文化特殊研究		4	休 講
国際関係特殊研究	欧州統合の諸問題	4	廣田 愛理 2025年度休講(12/12掲載)
	エスニシティとナショナリズム	4	金子 芳樹
	英語圏の国際関係	4	永野 隆行
人間論	文化と社会	2※	岡村 圭子
芸術論		2※	青山 愛香 担当者変更(12/12掲載)
	建築芸術と社会文化	2※	木田 剛
科学論	言語教育のための統計入門	2※	安間 一雄
	認知心理学	2※	田口 雅徳
外国語教授論Ⅰ	ドイツ語	2※	境 一三
外国語教授論Ⅱ	英語	2※	羽山 恵
外国語教授論Ⅲ	フランス語	2※	中村 公子
文献研究Ⅰ	ドイツ語	2※	金井 満
	ドイツ語	2※	M.ビティヒ
	ドイツ語	2※	伊豆田俊輔
文献研究Ⅱ	英語	2※	小早川 暁
	英語	2※	児嶋 一男
	英語	2※	柿田 秀樹
	英語	2※	永野 隆行
	英語	2※	金子 芳樹
	英語	2※	原 成吉（兼任）
	英語	2※	前沢浩子（2025年度は休講）
文献研究Ⅲ	フランス語	2※	木田 剛
	フランス語	2※	筒井 伸保

※は半年で完結する科目である。

3-3-6 博士前期課程 外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コース

研究分野及び指導教員

＜注＞入学志願票⑤にある「志望する指導教員名」は、この表から選び記載すること。

研究分野	指導教員
英語教育	E.本橋
	浅岡千利世
	羽山 恵

授業科目一覧

	授業科目	授業内容	単位	担当者
専攻科目	英語教育学研究Ⅰ	第二言語習得研究	4	E.本橋
	英語教育学研究Ⅱ	英語教授法研究	4	浅岡千利世
	英語教育学研究Ⅲ	英語教育研究方法論	4	羽山 恵
	英語授業特殊研究	英語音声教育研究	4	青柳真紀子
		英語教育ICT活用研究	4	休 講
		英語教育教材研究	4	休 講
	日英対照研究	統語論	4	安井美代子
		意味論	4	小早川 暁
	英語表現研究	スピーキング・スキルズ	4	休 講
		ライティング・スキルズ	4	休 講
	個別演習	特定課題研究指導	4	E.本橋
				浅岡千利世
				羽山 恵
特別専門科目	文献研究		2※	小早川 暁
				児嶋 一男
				柿田 秀樹
				永野 隆行
				金子 芳樹
				原 成吉（兼任）
				前沢浩子（2025年度は休講）

※は半年で完結する科目である。

3-3-7 博士前期課程 経済学研究科経済・経営情報専攻

専攻科目及び指導教員

＜注＞入学志願票⑦⑧⑨にある「志望する専攻科目」「志望する指導教員名」は、この表から選び記載すること。

経済・経営コース

専攻科目	指導教員	専攻科目	指導教員
理論経済学Ⅱ	塩田 尚樹	金融論	熊本 尚雄
理論経済学Ⅲ	藤山 英樹	アメリカ経済論	本田 浩邦
理論経済学Ⅳ	山下 裕歩	開発経済学	高安 健一
経済学史	黒木 亮	国際貿易論	米山 昌幸
経済地理学	大竹 伸郎	経営組織論	高松 和幸
環境経済学	浜本 光紹	企業論	平井 岳哉
都市経済学	倉橋 透	マーケティング論	有吉 秀樹
財政学	野村 容康	国際経営論	小林 哲也
公共経済学	高畑純一郎	社会会計論	大坪 史治

日本社会史

山本 裕 (12/20掲載)

情報コース

専攻科目	指導教員
管理工学	鈴木 淳
社会情報システム論	今福 啓
データベース論	堀江 郁美
多変量解析論	樋田 勉
マルチメディア論	李 凱

授業科目一覧

経済・経営コース

講義科目

科目群	授業科目		単位	担当者
経済	経済理論研究	1.理論経済学Ⅰ（ミクロ経済学）	4	休 講
		2.理論経済学Ⅱ（マクロ経済学）	4	塩田 尚樹
		3.理論経済学Ⅲ（応用ミクロ経済学）	4	藤山 英樹
		4.理論経済学Ⅳ（応用マクロ経済学）	4	山下 裕歩
		5.計量経済学	4	休 講
		6.経済学史	4	黒木 亮
	経済史研究	1.西洋経済史	4	休 講
		2.日本経済史	4	市原 博
		3.日本社会史	4	山本 裕（12/20掲載）
	経済政策研究	1.経済政策論	4	童 適平（兼任）
		2.経済地理学	4	大竹 伸郎
		3.自然地理学	4	休 講
		4.環境経済学	4	浜本 光紹
		5.労働経済論Ⅰ	4	休 講
		6.労働経済論Ⅱ（家計と経済）	4	休 講
		7.都市経済学	4	倉橋 透
		8.日本経済論	4	休 講
	財政金融研究	1.財政学	4	野村 容康
		2.地方財政論	4	休 講
		3.公共経済学	4	高畑純一郎
		4.金融論	4	熊本 尚雄
		5.保険経済論	4	休 講
	国際経済研究	1.オセアニア経済論	4	休 講
		2.アメリカ経済論	4	本田 浩邦
		3.東アジア・中国経済論	4	全 載旭
		4.開発経済学	4	高安 健一
		5.国際貿易論	4	米山 昌幸
		6.国際公共政策論	4	休 講
		7.地球環境論	4	休 講
		8.国際金融論	4	休 講
経営	経営研究	1.経営管理論Ⅰ（経営管理総論）	4	黒川 文子
		2.経営管理論Ⅱ（人的資源管理論）	4	岡部 康弘
		3.経営組織論	4	高松 和幸
		4.企業論	4	平井 岳哉
		5.ベンチャー企業論	4	休 講
		6.経営財務論	4	休 講
		7.マーケティング論	4	有吉 秀樹
		8.広告論	4	休 講
		9.国際経営論	4	小林 哲也
		10.経営戦略論	4	休 講
	会計研究	1.会計学	4	内倉 滋（兼任）
		2.財務会計論	4	休 講
		3.管理会計論	4	香取 徹（兼任）
		4.社会会計論	4	大坪 史治
		5.簿記論	4	休 講
		6.原価計算論	4	齋藤 正章（兼任）
		7.会計監査論	4	休 講
		8.税務会計論	4	休 講
		9.国際会計論	4	休 講
		10.公会計	4	休 講
共通	英書講読	4	黒木 亮	

演習科目

科目群	授業科目		単位	担当者
経済	経済理論演習	1.理論経済学Ⅰ	4	休 講
		2.理論経済学Ⅱ	4	塩田 尚樹
		3.理論経済学Ⅲ	4	藤山 英樹
		4.理論経済学Ⅳ	4	山下 裕歩
		5.計量経済学	4	休 講
		6.経済学史	4	黒木 亮
	経済史演習	1.西洋経済史	4	休 講
		2.日本経済史	4	市原 博
		3.日本社会史	4	山本 裕 (12/20掲載)
	経済政策演習	1.経済政策論	4	休 講
		2.経済地理学	4	大竹 伸郎
		3.環境経済学	4	浜本 光紹
		4.労働経済論Ⅰ	4	休 講
		5.労働経済論Ⅱ	4	休 講
		6.都市経済学	4	倉橋 透
		7.日本経済論	4	休 講
	財政金融演習	1.財政学	4	野村 容康
		2.公共経済学	4	高畑純一郎
		3.金融論	4	熊本 尚雄
		4.保険経済論	4	休 講
	国際経済演習	1.アメリカ経済論	4	本田 浩邦
		2.東アジア・中国経済論	4	全 載旭
		3.開発経済学	4	高安 健一
		4.国際貿易論	4	米山 昌幸
		5.国際公共政策論	4	休 講
		6.地球環境論	4	休 講
経営	経営演習	1.経営管理論Ⅰ	4	黒川 文子
		2.経営管理論Ⅱ	4	岡部 康弘
		3.経営組織論	4	高松 和幸
		4.企業論	4	平井 岳哉
		5.ベンチャー企業論	4	休 講
		6.経営財務論	4	休 講
		7.マーケティング論	4	有吉 秀樹
		8.広告論	4	休 講
		9.国際経営論	4	小林 哲也
		10.経営戦略論	4	休 講
	会計演習	1.会計学	4	休 講
		2.財務会計論	4	休 講
		3.管理会計論	4	休 講
		4.社会会計論	4	大坪 史治
		5.簿記論	4	休 講

情報コース

講義科目

科目群	授業科目		単位	担当者
情報	統計研究	1.統計学	4	休 講
		2.応用統計学	4	休 講
	管理工学研究	1.管理工学	4	鈴木 淳
		2.システムズ・エンジニアリング論	4	広瀬 啓雄（兼任）
	社会情報システム論研究	1.社会情報システム論	4	今福 啓
		2.情報社会学	4	松居 辰則（兼任）
	データベース論研究	1.データベース論	4	堀江 郁美
		2.ネットワーク論	4	休 講
	シミュレーション論研究	1.シミュレーション論	4	休 講
		2.多変量解析論	4	樋田 勉
	マルチメディア論研究	1.マルチメディア論	4	李 凱
		2.情報教育学	4	加藤 尚吾（兼任）
共通		英書講読	4	黒木 亮

演習科目

科目群	授業科目		単位	担当者
情報	統計演習	1.統計学	4	休 講
		2.応用統計学	4	休 講
	管理工学演習	1.管理工学	4	鈴木 淳
	社会情報システム論演習	1.社会情報システム論	4	今福 啓
	データベース論演習	1.データベース論	4	堀江 郁美
	シミュレーション論演習	1.シミュレーション論	4	休 講
		2.多変量解析論	4	樋田 勉
	マルチメディア論演習	1.マルチメディア論	4	李 凱

3-3-8 博士後期課程 法学研究科法律学専攻

専修科目及び指導教員

<注>入学志願票①の「入学後の志望専修科目」「志望する指導教員名」はこの表から選んで記載すること。

専修科目	指導教員
憲法	岡田 順太
憲法	大藤 紀子
憲法	L.ペドリサ
商法	吉川 信將
民事訴訟法	小川 健
知的財産権法	張 睿暎
環境法	一之瀬高博
国際法	鈴木 淳一
国際私法	山田 恒久
国際政治学	岡垣 知子
地方自治	大谷 基道

法哲学

野崎 亜紀子 (12/20掲載)

授業科目一覧

研究指導科目

科目	単位	担当者
法哲学特殊研究	4	野崎 亜紀子 (12/20掲載)
日本法制史特殊研究	4	小柳春一郎 (兼任)
英米法特殊研究	4	休 講
憲法特殊研究	4	岡田 順太
憲法特殊研究	4	大藤 紀子
憲法特殊研究	4	L.ペドリサ
行政法特殊研究	4	山田 洋 (兼任)
教育法特殊研究	4	休 講
民法特殊研究	4	小野 秀誠 (兼任)
商法特殊研究	4	吉川 信將
民事訴訟法特殊研究	4	小川 健
刑法特殊研究	4	中空 壽雅 (兼任)
刑事訴訟法特殊研究	4	休 講
刑事政策特殊研究	4	休 講
労働法特殊研究	4	石井 保雄 (兼任)
知的財産権法特殊研究	4	張 睿暎
環境法特殊研究	4	一之瀬高博
国際法特殊研究	4	鈴木 淳一
国際私法特殊研究	4	山田 恒久
国際経済法特殊研究	4	休 講
国際政治学特殊研究	4	岡垣 知子
政治外交史特殊研究	4	休 講
比較政治特殊研究	4	休 講
政治学特殊研究	4	福永 文夫 (兼任)
地方自治特殊研究	4	大谷 基道
政治思想史特殊研究	4	休 講

講義科目

科目	単位	担当者
公法総合研究	3	大藤 紀子
民事法総合研究	3	小野 秀誠 (兼任)
刑事法総合研究	3	中空 壽雅 (兼任)
国際関係総合研究	3	福永 文夫 (兼任)
政治学総合研究	3	福永 文夫 (兼任)

3-3-9 博士後期課程 外国語学研究科ドイツ語学専攻

研究分野及び指導教員

＜注＞入学志願票⑥にある「志望する研究分野・指導教員名」は、この表から選び記載すること。

研究分野	指導教員
ドイツ語学	境 一三
	相澤 啓一
ドイツ文学	矢羽々 崇
	渡部 重美 2025年度休講(11/26掲載)
	工藤 達也
ドイツ歴史文化	山本 淳
ドイツ政治社会	大重光太郎

ドイツ歴史文化 青山 愛香 (12/20掲載)

授業科目一覧

授業科目	単位	担当者
ドイツ語学特殊研究	4	境 一三
ドイツ語学特殊演習	4	境 一三
ドイツ語学特殊研究	4	相澤 啓一
ドイツ語学特殊演習	4	相澤 啓一
ドイツ文学特殊研究	4	矢羽々 崇
ドイツ文学特殊演習	4	矢羽々 崇
ドイツ文学特殊研究	4	渡部 重美 2025年度休講(11/26掲載)
ドイツ文学特殊演習	4	渡部 重美 2025年度休講(11/26掲載)
ドイツ文学特殊研究	4	工藤 達也
ドイツ文学特殊演習	4	工藤 達也
ドイツ語テキスト理論研究	4	休 講
ドイツ語テキスト理論演習	4	休 講
ドイツ歴史文化研究	4	山本 淳
ドイツ歴史文化演習	4	山本 淳
ドイツ政治社会研究	4	大重光太郎
ドイツ政治社会演習	4	大重光太郎

ドイツ歴史文化研究・4・青山 愛香(12/20掲載)

ドイツ歴史文化演習・4・青山 愛香(12/20掲載)

3-3-10 博士後期課程 外国語学研究科英語学専攻

研究分野及び指導教員

＜注＞入学志願票⑥にある「志望する研究分野・指導教員名」は、この表から選び記載すること。

研究分野	指導教員
英語学	安井美代子
国際関係論	金子 芳樹
	永野 隆行
	水本 義彦 2025年度休講(12/12掲載)
コミュニケーション論	板場 良久
	柿田 秀樹
	松本健太郎

授業科目一覧

授業科目	単位	担当者
英語学研究	4	安井美代子
英語学演習	4	安井美代子
英米文学研究	4	児嶋 一男
英米文学演習	4	児嶋 一男
英米文学研究	4	原 成吉 (兼任)
英語文化研究	4	休 講
英語文化演習	4	休 講
国際関係論研究	4	金子 芳樹
国際関係論演習	4	金子 芳樹
国際関係論研究	4	永野 隆行
国際関係論演習	4	永野 隆行
国際関係論研究	4	水本 義彦 2025年度休講(12/12掲載)
国際関係論演習	4	水本 義彦 2025年度休講(12/12掲載)
コミュニケーション論研究	4	板場 良久
コミュニケーション論演習	4	板場 良久
コミュニケーション論研究	4	柿田 秀樹
コミュニケーション論演習	4	柿田 秀樹
コミュニケーション論研究	4	松本健太郎
コミュニケーション論演習	4	松本健太郎

3-3-11 博士後期課程 外国語学研究科フランス語学専攻

研究分野及び指導教員

＜注＞入学志願票⑥にある「志望する研究分野・指導教員名」は、この表から選び記載すること。

研究分野	指導教員
フランス語学	田中 善英
	木田 剛
フランス文学	江花 輝昭
フランス思想	筒井 伸保
フランス文化	藤田 朋久

授業科目一覧

授業科目	単位	担当者
フランス語学特殊研究	4	田中 善英
フランス語学特殊演習	4	田中 善英
フランス語学特殊研究	4	木田 剛
フランス語学特殊演習	4	木田 剛
フランス語教育特殊研究	4	休 講
フランス語教育特殊演習	4	休 講
フランス文学特殊研究	4	江花 輝昭
フランス文学特殊演習	4	江花 輝昭
フランス思想特殊研究	4	筒井 伸保
フランス思想特殊演習	4	筒井 伸保
フランス文化特殊研究	4	藤田 朋久
フランス文化特殊演習	4	藤田 朋久

3-3-12 博士後期課程 経済学研究科経済・経営情報専攻

専攻科目及び指導教員

＜注＞入学志願票⑦にある「志望する専攻科目・指導教員名」は、この表から選び記載すること。

専攻科目	指導教員
理論経済学Ⅰ	藤山 秀樹
理論経済学Ⅱ	塩田 尚樹
都市経済学	倉橋 透
環境経済学	浜本 光紹
財政学	野村 容康
開発経済学	高安 健一
アメリカ経済論	本田 浩邦
企業論	平井 岳哉
応用統計学	樋田 勉
管理工学	鈴木 淳
社会情報システム論	今福 啓

授業科目一覧

講義科目

	授業科目	単位	担当者
経済理論特殊研究	1.理論経済学Ⅰ	4	藤山 英樹
	2.理論経済学Ⅱ	4	塩田 尚樹
	3.経済学史	4	休 講
経済史特殊研究	1.日本経済史	4	市原 博
	2.日本社会史	4	休 講
経済政策特殊研究	1.都市経済学	4	倉橋 透
	2.経済政策論	4	童 適平（兼任）
	3.経済地理学	4	休 講
	4.環境経済学	4	浜本 光紹
	5.日本経済論	4	休 講
財政金融特殊研究	1.財政学	4	野村 容康
	2.金融論	4	休 講
	3.金融政策史論	4	休 講
国際経済特殊研究	1.東アジア・中国経済論	4	全 載旭
	2.開発経済学	4	高安 健一
	3.アメリカ経済論	4	本田 浩邦
	4.国際公共政策論	4	休 講
	5.地球環境論	4	休 講
経営特殊研究	1.経営管理論	4	黒川 文子
	2.企業論	4	平井 岳哉
	3.社会広告論	4	休 講
会計特殊研究	1.会計学	4	休 講
	2.管理会計論	4	香取 徹（兼任）
	3.近代会計学	4	休 講
	4.社会会計学	4	休 講
統計特殊研究	1.統計学	4	休 講
	2.応用統計学	4	樋田 勉
情報特殊研究	1.管理工学	4	鈴木 淳
	2.情報管理論	4	休 講
	3.情報処理論	4	休 講
	4.社会情報システム論	4	今福 啓

演習科目

	授業科目	単位	担当者
経済理論演習	1.理論経済学Ⅰ	4	藤山 英樹
	2.理論経済学Ⅱ	4	塩田 尚樹
	3.経済学史	4	休 講
経済史演習	1.日本経済史	4	市原 博
	2.日本社会史	4	休 講
経済政策演習	1.都市経済学	4	倉橋 透
	2.経済政策論	4	休 講
	3.経済地理学	4	休 講
	4.環境経済学	4	浜本 光紹
	5.日本経済論	4	休 講
財政金融演習	1.財政学	4	野村 容康
	2.金融論	4	休 講
	3.金融政策史論	4	休 講
国際経済演習	1.東アジア・中国経済論	4	全 載旭
	2.開発経済学	4	高安 健一
	3.アメリカ経済論	4	本田 浩邦
	4.国際公共政策論	4	休 講
	5.地球環境論	4	休 講
経営演習	1.経営管理論	4	黒川 文子
	2.企業論	4	平井 岳哉
	3.社会広告論	4	休 講
会計演習	1.会計学	4	休 講
	2.管理会計論	4	休 講
	3.近代会計学	4	休 講
	4.社会会計学	4	休 講
統計演習	1.統計学	4	休 講
	2.応用統計学	4	樋田 勉
情報演習	1.管理工学	4	鈴木 淳
	2.情報処理論	4	休 講
	3.社会情報システム論	4	今福 啓

4. 出願

4-1 出願書類

4-1-1 法学研究科

No.	出願書類 (○印が付いている書類を提出すること。本学指定様式は、P.37以降の様式又はデジタル版の様式(大学HPよりダウンロード)を利用すること)	博士前期課程		博士後期課程
		一般入試	社会人入試	博士後期課程入試
1	入学志願票①(本学指定様式)	○	—	○
	入学志願票②(本学指定様式)	—	○	—
2	研究計画書(本学指定様式) ・40文字×30行程度	○	○	○
3	入学検定料を振込んだことがわかるもの(後日返却)。 ・銀行窓口:振込金受取書(銀行収納印を受けたもの) ・A T M:利用明細票 ・ネットバンキング:振込明細(P D F等を出力)	○	○	○
4	学部の成績証明書 ^{※1} (P.26参照) ・大学院修了(見込)者は、大学院の成績証明書も併せて提出すること。	○	○	—
5	学部の卒業証明書又は卒業見込証明書 ^{※1} (P.26参照) ・大学院修了者(見込)は、大学院の修了証明書又は修了見込証明書も併せて提出すること。	○	○	—
6	博士前期課程(修士課程)の成績証明書 ^{※1} (P.26参照)	—	—	○
7	博士前期課程(修士課程)の修了証明書又は修了見込証明書 ^{※1} (P.26参照)	—	—	○
8	修士の学位論文(又はその写し) 1部 ・製本していないものを提出すること。 ・2025年3月博士前期課程(修士課程)修了見込の者は、提出済又は提出予定の修士論文を提出すること。 ・2025年3月本学大学院法学研究科博士前期課程修了見込者は不要。 ・外国籍の者で修士論文のない者については、指導教員等の推薦状の評価をもってこれに代えることができる。	—	—	○
9	修士論文の概要(本学指定様式) ・40文字×30行を2枚程度	—	—	○
10	[日本在住の外国籍の者のみ] 住民票 ・国籍・在留資格・在留期間が記載されたもの(個人番号は不要) [海外在住者のみ/国籍問わず] パスポート(写) ・国籍・生年月日・氏名・顔写真等の記載部分のページ	該当者のみ 提出すること	該当者のみ 提出すること	該当者のみ 提出すること
11	[外国で学校教育を受けた者のみ/国籍問わず] 小学校から現在に至るまでの履歴書(大学指定様式) ・外国における正規の学校教育課程で学修した場合は、提出すること(但し、短期留学の場合は不要)。 ・日本の学校教育課程でも学修した場合は、日本における学修歴も含めて記載すること。	該当者のみ 提出すること	該当者のみ 提出すること	該当者のみ 提出すること

※1 個別の入学資格審査において出願許可を得た者は、提出不要。

[備考]

・「4-1-4 出願書類に関する注意事項」(P.26)を必ず確認すること。

4-1-2 外国語学研究科

No.	出願書類 (○印が付いている書類を提出すること。本学指定様式は、P.37以降の様式又はデジタル版の様式(大学HPよりダウンロード)を利用すること)	博士前期課程		博士後期課程
		一般入試	社会人入試	博士後期課程入試
1	入学志願票③(本学指定様式)	○	—	—
	[外国語学研究科英語学専攻 社会人入試のみ] 入学志願票④(本学指定様式)	—	○	—
	[外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コースのみ] 入学志願票⑤(本学指定様式)	—	○	—
	入学志願票⑥(本学指定様式)	—	—	○
2	研究計画書(本学指定様式)	○ 40文字×30行程度	○ 40文字×30行程度	○ 40文字×30行を3枚程度
3	入学検定料を振込んだことがわかるもの(後日返却)。 ・銀行窓口:振込金受取書(銀行収納印を受けたもの) ・ATM:利用明細票・ネットバンキング:振込明細(PDF等を出力)	○	○	○
4	学部の成績証明書 ^{*1} (P.26参照) ・大学院修了(見込)者は、大学院の成績証明書も併せて提出すること。	○	○	—
5	学部の卒業証明書又は卒業見込証明書 ^{*1} (P.26参照) ・大学院修了者(見込)は、大学院の修了証明書又は修了見込証明書も併せて提出すること。	○	○	—
6	[外国語学研究科英語学専攻のみ] 次のいずれかの英語能力の証明書(写)(P.26参照) ・TOEIC® Listening & Reading Test ・TOEFL iBT® テスト ・IELTS™ Academic Module ・実用英語技能検定試験 (資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る。証明書は必ず提出すること。合否判定の一部とするが、基準スコアはなし。)	○	—	—
	[外国語学研究科英語学専攻のみ] 出願資格を満たす英語能力の証明書(写)(P.8及びP.26参照) (資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る。)	—	○	○
7	[外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コースのみ] 在職証明書又は教職経験を証明するもの	—	○	—
8	[外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コースのみ] 大学院受験承諾書(公立の専任教諭の場合/教育委員会発行)	—	○	—
9	[外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コースのみ] 本コースにて研究しようとする事柄に関連した学術論文又は学会発表資料いずれか2つ(但し、卒業論文、修士論文などの学位論文は該当しない。)	—	○	—
10	博士前期課程(修士課程)の成績証明書 ^{*1} (P.26参照)	—	—	○
11	博士前期課程(修士課程)の修了証明書又は修了見込証明書 ^{*1} (P.26参照)	—	—	○
12	修士の学位論文(又はその写し) 1部 ・製本していないものを提出すること。 ・2025年3月博士前期課程(修士課程)修了見込の者は、提出済み又は提出予定の修士論文を提出すること。 ・2025年3月本学大学院外国語学研究科博士前期課程修了見込者は不要。 ・修士論文のない者については、教員の指導下で作成した論文及び指導教員の推薦状を持ってこれに代えることができる。	—	—	○
13	修士論文又はこれに準ずるものの概要(本学指定様式)	—	—	○ 40文字×30行を2枚程度
14	[修士論文以外の研究業績がある者のみ] 研究業績リスト(本学所定様式)	—	—	該当者のみ提出すること
15	[日本在住の外国籍の者のみ] 住民票(国籍・在留資格・在留期間が記載されたもの(個人番号は不要)) [海外在住者のみ/国籍問わず] パスポート(写)(国籍・生年月日・氏名・顔写真等の記載部分のページ)	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること
16	[外国で学校教育を受けた者のみ/国籍問わず] 小学校から現在に至るまでの履歴書(大学指定様式) ・外国における正規の学校教育課程で学修した場合は、提出すること(但し、短期留学の場合は不要)。 ・日本の学校教育課程でも学修した場合は、日本における学修歴も含めて記載すること。	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること

※1 個別の入学資格審査において出願許可を得た者は、提出不要。

[備考]

・「4-1-4 出願書類に関する注意事項」(P.26)を必ず確認すること。

4-1-3 経済学研究科

No.	出願書類 (○印が付いている書類を提出すること。本学指定様式は、P.37以降の様式又はデジタル版の様式(大学HPよりダウンロード)を利用すること)	博士前期課程			博士後期課程
		一般入試	社会人入試	特別入試	博士後期課程入試
1	入学志願票⑦(本学指定様式)	○	—	—	○
	入学志願票⑧(本学指定様式)	—	○	—	—
	入学志願票⑨(本学指定様式)	—	—	○	—
2	研究計画書(本学指定様式) ・40文字×30行程度	○	○	○	○
3	入学検定料を振込んだことがわかるもの(後日返却)。 ・銀行窓口:振込金受取書(銀行取納印を受けたもの) ・ATM:利用明細票 ・ネットバンキング:振込明細(PDF等を出力)	○	○	○	○
4	学部の成績証明書 ^{※1} (P.26参照) ・大学院修了(見込)者は、大学院の成績証明書も併せて提出すること。	○	○	○	—
5	学部の卒業証明書又は卒業見込証明書 ^{※1} (P.26参照) ・大学院修了者(見込)は、大学院の修了証明書又は修了見込証明書も併せて提出すること。	○	○	○	—
6	過去3年以内の卒業論文(日本語又は英語)又はそれに準ずる論文 ・枚数等適格性は経済学研究科の判断による。 ・日本語又は英語以外の言語は、日本語又は英語に翻訳したものを添付すること。	—	—	○	—
7	提出する論文の要旨 (日本語で2,000字前後/A4・書式自由)	—	—	○	—
8	博士前期課程(修士課程)の成績証明書 ^{※1} (P.26参照)	—	—	—	○
9	博士前期課程(修士課程)の修了証明書又は修了見込証明書 ^{※1} (P.26参照)	—	—	—	○
10	修士の学位論文(又はその写し) 1部 ・製本していないものを提出すること。 ・ページ番号を振ること。 ・2025年3月博士前期課程(修士課程)修了見込の者は、提出済み又は提出予定の修士論文を提出すること。 ・2025年3月本学大学院経済学研究科博士前期課程修了見込者は不要。 ・修士論文のない者については、教員の指導下で作成した論文及び指導教員の推薦状を持ってこれに代えることができる。	—	—	—	○
11	修士論文又はこれに準ずるものの概要(本学指定様式) ・40文字×30行を2枚程度	—	—	—	○
12	[日本在住の外国籍の者のみ] 住民票 ・国籍・在留資格・在留期間が記載されたもの(個人番号は不要) [海外在住者のみ/国籍問わず] パスポート(写) ・国籍・生年月日・氏名・顔写真等の記載部分のページ	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること
13	[外国で学校教育を受けた者のみ/国籍問わず] 小学校から現在に至るまでの履歴書(大学指定様式) ・外国における正規の学校教育課程で学修した場合は、提出すること(但し、短期留学の場合は不要)。 ・日本の学校教育課程でも学修した場合は、日本における学修歴も含めて記載すること。	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること	該当者のみ提出すること

※1 個別の入学資格審査において出願許可を得た者は、提出不要。

[備考]

・「4-1-4 出願書類に関する注意事項」(P.26)を必ず確認すること。

4-1-4 出願書類に関する注意事項

①各種証明書について

- ・必ず原本を提出してください（コピー不可）。なお、厳封不要です。
- ・出願締切日から遡って3ヵ月以内に発行したものを用意してください。
- ・英語能力の証明書に限り、コピー可とし、資格取得日が出願締切日から遡って2年以内のものに限ります。
- ・婚姻等により証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明する書類（戸籍抄本等）を添付してください。
- ・外国の大学・大学院出身者は、出身大学・大学院が発行する英語又は日本語による証明書の原本を提出してください。やむを得ず、それ以外の言語で作成された証明書しかない場合は、以下の2点を揃えて提出してください。

① 日本語又は英語以外の言語で作成された証明書（原本）

② 大使館・公証処等の公的機関で認証を受けた日本語又は英語の訳文の原本

在日大使館で翻訳公証を行っていない国・地域もあります（例：中国など）。その場合は、本国で翻訳公証を受け取る必要がありますので、余裕を持って準備をしてください。なお、在日大使館が法定翻訳を請け負っている場合は、それを提出することも可能です。

【中国国内の教育機関を卒業・修了（見込を含む）の場合】

中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の関係文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証は行っていません。

中国国内で発行された各種証明書の公証・認証手続きは、中国国内のCHSI（教育部学歴認証センター：北京市）もしくはCHSIの日本代理機構、各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）に申請してください。なお、本国への認証申請に必要な資料や、書類発行までにどれくらいの時間を要するか等、事前によく確認し、期日に間に合うよう余裕をもって準備してください。

中国高等教育学生信息网「CHSI」 <https://www.chsi.com.cn/>

中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構 <http://www.chsi.jp/>

[注意事項]

- ・ オンライン認証報告書は、認証機関（CHSI）より獨協大学大学院事務室事務課へ直送する手続きを取ってください。直送されたもののみ有効とします（オンラインシステムから自分で出力したものや、志願者本人が受領し本学へ転送した証明書は無効とします）。
- ・ 電子認証報告メール送信先は、下記の通りです。認証報告のメールが直接本学へ出願締切日（P. 4 参照）までに送付されるようにしてください。
電子認証報告メール送信先：獨協大学大学院事務室事務課 daigakuin2@ml.dokkyo.ac.jp
- ・ 申請が完了しましたら、氏名、出願予定の研究科・課程・専攻名、出願予定の入試制度名、申請受付が完了したことが分かる証明画面等を、獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面参照）までお送りください（郵送・メールどちらでも可）。

②大学指定様式について

- ・ P.23～P.25にある出願書類のうち、“大学指定様式”と記載があるものについては、P.37以降の様式又はデジタル版の様式（大学ホームページからダウンロード）を利用してください。
- ・ 「研究計画書」や「修士論文又はこれに準ずる論文の概要」など行数等が定められている場合は、当該様式を複写（A4サイズ）して作成してください。その際、ページ番号を必ず入れてください。

4-2 入学検定料の納入

入学検定料	35,000円
-------	---------

出願期間（P. 4 参照）内に振込みを完了させてください（出願期間外に振込みをした場合無効となります）。一度納入された入学検定料は、出願書類の提出・未提出にかかわらず返還しませんので、ご注意ください。

振込先：金融機関名 三菱UFJ銀行（銀行コード0005）
支店名 草加新田支店（店番597）
預金種別 普通
口座番号 1000057
口座名義 ガク）ドツキヨウガクエン 学校法人 獨協学園

納入方法：銀行からの振り込み〔電信扱〕に限る

やむを得ずATM等から振り込みを行う場合、必ず志願者の氏名を入力し、金額に間違いがないことを確認してください。入力間違い等があった場合、本学ではその責任を一切負えませんのでご了承ください。

注意事項：振込手数料をご負担ください。入学検定料を振込んだことがわかるもの（後日、本学より返却）を出願書類に同封してください。

- ・ 銀行窓口：振込金受取書（銀行収納印を受けたもの）
- ・ ATM：利用明細票
- ・ ネットバンキング：振込明細（PDF等を出力）

4-3 出願方法

出願期間（P. 4 参照）内に出願書類を角形2号封筒に宛名ラベル（本学ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入）を貼付又は下記を明記して、必ず簡易書留・速達（配達履歴の確認が取れる方法を利用すること（レターパック利用可））で郵送（出願締切日の消印有効）してください。

〔出願書類提出先〕

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1
獨協大学大学院事務室事務課
TEL 048-946-1666

※封筒表面に、“入学試験出願書類在中”と朱書きしてください。

注意事項：

- ・ 出願書類提出後の変更は一切認めません。
- ・ 出願書類に不備があった場合は、出願を受け付けないことがあります。提出前にしっかり確認をしてください。
- ・ 本学より不備内容について連絡があった場合は、速やかにその指示に従ってください。また、提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願を取り消します。
- ・ 一度提出した書類及び納入した入学検定料はいかなる理由があっても、返還しません。
- ・ 出願後に、氏名・住所・電話番号・メールアドレス等が変更となった場合は、速やかに獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面の連絡先参照）まで連絡してください。
- ・ 出願締切日の消印有効としますが、最終日の出願は時間に余裕を持って行ってください。また、土曜日に郵送する場合は、取り扱いができる郵便局が限られますので、ご注意ください。出願締切日を過ぎた消印の書類は、いかなる理由があっても、受け付けません。

4-4 受験票等の交付

試験日の10日程度前に受験票及び試験当日の集合時間・試験教室等をお知らせします（入学志願票に記載されたメールアドレスに送信予定）。メールを受信次第、出願した内容と相違がないか確認してください。試験日の7日前になってもメールが届かない場合や誤りがある場合は、至急獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面の連絡先参照）に連絡をしてください。

5. 入学試験

5-1 試験当日の注意事項

①集合時間・試験場

- ・試験日の10日程度前に受験票と共に、当日の集合時間・試験教室等をお知らせしますので、必ずご確認ください。集合時間までに指定された試験教室に入り、机上の受験番号シールの番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
- ・受験票は試験監督者が見やすいように、受験番号シールの手前に置いてください。
- ・なお、本学建物内は禁煙です。喫煙をする場合は、構内に設置している喫煙所をご利用ください。

②試験当日の所持品

- ・受験票
- ・時計：各自持参してください。スマートウォッチなどの通信機能を搭載した腕時計は使用できません。
- ・昼食：各自持参してください。
- ・筆記用具

試験中の使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの（一例）
・黒鉛筆、シャープペンシル（HB又はBのみ） ・プラスチック製の消しゴム（ケースを外し、無地のもの） ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可） ・時計（時刻以外を表示する機能を有するものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは使用不可） ・眼鏡	・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末等の電子通信機器 ・携帯音楽プレーヤー、ICレコーダー等、音を発するもの ・時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能（事前に必ず解除又は停止しておくこと）、キッチンタイマー ・翻訳機、電子辞書 ・万年筆、ボールペン、赤ペン、色鉛筆、マーカーペン、付箋 ・耳栓、イヤホン ・飲食物

③試験時間中の注意

- ・試験開始後20分以降の遅刻は認めません。
- ・試験場、試験教室においては、試験監督者及び係員の指示に従ってください。
- ・受験番号・氏名の記入がない答案は無効になります。
- ・受験票のほか、前述の「試験中の使用を認めるもの」以外のものは、机の上に置かないでください。
- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末等の電子通信機器を身につけてはいけません。電源を切ってかばん等に入れ、机の下に置いてください。電源を切れない通信機器を試験教室に持ち込むことはできません。また、アラーム機能等により稼働する可能性がある通信機器は、稼働しないように設定した上で電源を切ってください。試験中にこれらの通信機器や時計等の音・振動等が発生し、発生源のかばん等が特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験教室外に持ち出すことがあります。
- ・試験時間中に、ハンカチ、ティッシュペーパー、座布団、ひざ掛け、点眼薬、点鼻薬等を使用したい場合は、試験監督者の許可を得て使用してください。
- ・耳栓は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
- ・試験教室は、専攻等によって割り当てられます。施設、建物、階数等によって試験教室の大きさや室温等の環境が異なります。また、机、椅子、空調、遮光設備、音響設備等の試験教室による相違は一切考慮しません。
- ・生活騒音（航空機、自動車、風雨、空調音、動物の鳴き声、周辺の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動音等）については、特別な措置は原則として行いません。
- ・試験時間中に鉛筆等を床に落とした場合は、挙手し、試験監督者の許可を得てから拾ってください。
- ・試験時間中に体調不良により受験に耐えられなくなった場合は、試験監督者に申し出てください。但し、受験を中断した場合（移動や休養に時間を要した場合も含む）でも、試験時間の延長は認めません。
- ・答案作成が完了しても、試験時間中の退場は原則として認めません。

5-2 選考方法

5-2-1 博士前期課程 法学研究科

一般入試 選考方法

筆記試験 次のA・B各グループから1科目ずつ合計2科目とする。 (9：30～13：00／210分)					面接試験 (14：30～)
A.志望専修科目	・憲法 ・商法 ・刑事政策 *国際法 *国際政治学	・行政法 ・民事訴訟法 ・知的財産権法 *国際人権法 *比較政治	・教育法 ・刑法 ・環境法 *国際私法 *地方自治	・民法 ・刑事訴訟法 *国際経済法 *政治思想史	主として志望する専修分野について行う。
B.選択科目 (Aで選択しなかった1科目) 但し、Aグループの科目のうち*印の科目を専修科目とする場合は、外国語を必ず選択すること。	・外国語（英語・独語・仏語のうちから1科目選択） ・憲法 ・商法 ・刑事政策 ・国際人権法 ・比較政治 ・行政法 ・民事訴訟法 ・知的財産権法 ・国際私法 ・行政学 ・教育法 ・刑法 ・環境法 ・国際経済法 ・地方自治 ・民法 ・刑事訴訟法 ・国際法 ・国際政治学 ・政治思想史				
(注) 1.『六法』参照可の科目については、参照判例・解説の付されていない『六法』を大学が貸与する。 2.外国語試験は和訳とし、大学が貸与する英和辞書の使用を認める。					

社会人入試 選考方法

(1) 書類選考

(2) 筆記試験(志望専修科目・120分)

(3) 口述試験

(注)『六法』参照可の科目については、参照判例・解説の付されていない『六法』を大学が貸与する。

5-2-2 博士前期課程 外国語学研究科

一般入試 選考方法

専攻	筆記試験		面接試験 (13:30～)
ドイツ語学	9:30～10:15 (45分)	英語（第2外国語） ※辞書持込可。ただし、電子辞書を除く。	主として志望する専攻分野について行う。 (使用言語による質問が行われることがある。)
	10:25～12:10 (105分)	ドイツ語（第1外国語） ※独和及び和独辞書持込可。ただし、電子辞書を除く。	
英語学	10:40～12:10 (90分)	専門科目	
フランス語学	9:30～10:15 (45分)	英語（第2外国語） ※英和及び和英辞書持込可。ただし、電子辞書を除く。	
	10:25～12:10 (105分)	フランス語（第1外国語） ※仏和及び和仏辞書持込可。ただし、電子辞書を除く。	

社会人入試 選考方法（外国語学研究科英語学専攻のみ）

- (1) 研究計画書（出願時に提出）
- (2) 筆記試験：英語のエッセイ700語程度（テーマは試験教室で与えられる。）
- (3) 面接試験（使用言語による質問が行われることがある。）

社会人入試 選考方法（外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コースのみ）

- (1) 研究計画書（出願時に提出）
- (2) 提出された学術論文又は学会発表資料（出願時に提出）
- (3) 面接試験（使用言語による質問が行われることがある。）

5-2-3 博士前期課程 経済学研究科

一般入試 選考方法

筆記試験 英語及び入学後の志望専攻科目の計2科目		面接試験 (13:30～)
9:30～10:30 (60分)	英語 ※外国人学生は英語に代えて日本語を選択することができる。 (注) 英語受験者には、大学で貸与する英和辞書の使用を認める。	主として志望する専攻分野について行う。
10:40～12:10 (90分)	入学後の志望専攻科目 ※出願時に提出の「入学志願票⑦」に記載した入学後の志望専攻科目が受験科目となる。	

社会人入試 選考方法

- (1) 研究計画書（出願時に提出）
- (2) 面接試験

特別入試 選考方法

- (1) 過去3年以内の卒業論文（日本語又は英語）又はそれに準ずる論文。他言語の場合は、日本語又は英語に翻訳したものを添付（出願時に提出）
- (2) 提出する論文の要旨（日本語で2,000字前後／出願時に提出）
- (3) 研究計画書（出願時に提出）
- (4) 面接試験

5-2-4 博士後期課程 法学研究科

博士後期課程入試 選考方法

外国語筆記試験 (9:30～13:00/210分)	口述試験 (14:30～)
英語、独語、仏語のうち受験生が選択する2科目について行う（外国語試験は和訳とし、大学が貸与する辞書の使用を認める）。 ※日本国籍を有しない受験生に対する考査には、次のような特例を認める。 1. 外国語筆記試験——免除する。 2. 口述試験——日本語及び研究を志望する専門分野について行う。	研究を志望する専門分野について行う。

5-2-5 博士後期課程 外国語学研究科

博士後期課程入試 選考方法

- (1) 研究計画書（出願時に提出）
- (2) 提出された修士の学位論文又はこれに準ずるもの（出願時に提出）
- (3) 面接試験（使用言語による質問が行われることがある。対面試験又はオンライン試験を選択）

※対面試験／オンライン試験の選択は、出願時のみ可能です（「入学志願票⑥」所定欄にて選択）。

※オンライン試験は「Zoom」を使用して実施します。オンライン試験を希望する者は、試験日の1週間前を目途にオンライン試験の受験環境を確認するためのリハーサルを行います。リハーサル日程については個別にメールで連絡します。

※オンライン試験に必要な接続環境について質問がある場合は、獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面参照）にお問い合わせください。

5-2-6 博士後期課程 経済学研究科

博士後期課程入試 選考方法

筆記試験 (10:40～12:10/90分)	口述試験 (13:30～)
英語（大学で貸与する英和辞書の使用を認める。） ※外国人は英語に代えて日本語を選択することができる。	研究を志望する専門分野について行う。

6. 合格発表、入学手続

6-1 合格発表

課程	入試制度名	合格発表日
博士前期	I期入試	10月3日(木) 10:00
	II期入試	2月14日(金) 10:00
	特別入試	2月14日(金) 10:00
博士後期	博士後期課程入試	2月14日(金) 10:00

<発表方法>

大学ホームページに合格者の受験番号を掲出。

可否に関する電話やメールによる問い合わせには応じられません。

合格者には、発表日当日、合格通知書と共に入学手続書類を郵送します。

6-2 入学手続、入学辞退

①入学手続期間

課程	入試制度名	入学手続期間（1回目）	入学手続期間（2回目）
博士前期	I期入試	10月4日(金)～10月15日(火) 郵送・消印有効	2月14日(金)～2月27日(木) 郵送・消印有効
	II期入試	2月14日(金)～2月27日(木) 郵送・消印有効	—
	特別入試	2月14日(金)～2月27日(木) 郵送・消印有効	—
博士後期	博士後期課程入試	2月14日(金)～2月27日(木) 郵送・消印有効	—

金融機関や公的機関による融資を受ける場合、融資を受けるまでに時間がかかる場合があります。融資を希望する場合は、早めに各機関の窓口にご相談し、上記手続期間内に入学時納付金を納入できるよう準備をしてください。

②入学手続方法

指定された手続期間内に、入学時納付金を振込み、入学手続書類を獨協大学大学院事務室事務課宛に郵送にて提出（締切日消印有効）してください。

③入学時納付金

博士前期課程・博士後期課程（博士前期課程 1 年コースを除く）

[2024年度実績]	入学時納付金			秋学期納付金	備考
	博士前期課程Ⅰ期入試		博士前期課程Ⅱ期入試 博士前期課程特別入試 博士後期課程入試		
	入学手続期間 （１回目）	入学手続期間 （２回目）	入学手続期間	（納期：９月）	
入学金*１・*２	250,000円	－	250,000円	－	入学時のみ。
授業料 （春学期分）	－	325,000円	325,000円	325,000円	年額650,000円。春・秋学期に分割して納入。
教育充実費	－	150,000円	150,000円	－	毎年度４月納入。
学生教育研究災害傷害保険料*３	－	800円	800円	－	毎年度４月納入。
合計	250,000円	475,800円	725,800円	325,000円	初年度合計 1,050,800円

^{*1}博士前期課程に入学を許可された者のうち、本学を卒業又は本大学院の課程を修了した者及び本学在学中の者で飛び級により入学を許可された者については、入学金を免除する。

^{*2}博士後期課程に入学を許可された者のうち、本学を卒業又は本大学院の課程を修了した者については、入学金を免除する。

^{*3}学生教育研究災害傷害保険は、学生が教育研究活動中（正課中及び通学途中等）に自身が被った災害に対して、必要な給付を行うことを目的としている。

博士前期課程 1 年コース（外国語学研究科英語学専攻英語教育専修コース）

[2024年度実績]	入学時納付金			秋学期納付金	備考
	博士前期課程Ⅰ期入試		博士前期課程Ⅱ期入試		
	入学手続期間 （1 回目）	入学手続期間 （2 回目）	入学手続期間	（納期：9 月）	
入学金*1	250,000円	－	250,000円	－	入学時のみ。
授業料 （春学期分）	－	425,000円	425,000円	425,000円	年額850,000円。春・秋学期に分割して納入。
教育充実費	－	150,000円	150,000円	－	毎年度4 月納入。
学生教育研究災害傷害保険料*2	－	800円	800円	－	毎年度4 月納入。
合計	250,000円	575,800円	825,800円	425,000円	初年度合計 1,250,800円

^{*1}博士前期課程に入学を許可された者のうち、本学を卒業又は本大学院の課程を修了した者及び本学在学中の者で飛び級により入学を許可された者については、入学金を免除する。

^{*2}学生教育研究災害傷害保険は、学生が教育研究活動中（正課中及び通学途中等）に自身が被った災害に対して、必要な給付を行うことを目的としている。

④入学辞退について

入学申込金（入学金）を納入した時点で、本学大学院の入学生としての地位を取得します。納入した入学時納付金及び提出した書類は、返還いたしません。但し、入学手続き完了後、やむを得ず入学を辞退せざるを得ない場合には、2025年 3 月 31 日（月）12 時までに所定の手続きをした場合に限り、入学金を除く入学時納付金を返還いたします。詳細は、獨協大学大学院事務室事務課（表紙裏面の連絡先参照）までお問い合わせください。

6-3 奨学金制度

1. 獨協大学大学院奨学金（給付）

奨学金名称	金 額	備 考
大学院奨学金	この奨学金は、人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的理由で研究に支障をきたしている大学院生を奨学金の給付により援助することを目的とするものです。 奨学金給付額は、月額44,000円又は月額22,000円となっています。	・本大学院独自の制度 ・選考の上給付
大学院交換留学生奨学金	月額22,000円	
大学院外国人学生支援奨学金	対象：外国人学生 年間授業料の30%相当額を上限として減免することにより奨学金とみなします。	

2. 公益財団法人高澤三次郎国際奨学財団 外国人留学生奨学金（給付）

奨学金名称	金 額	備 考
公益財団法人 高澤三次郎国際奨学財団 外国人留学生奨学金	月額50,000円	・対象：アジア諸国からの留学生（博士前期課程のみ／在留資格は「留学」のみ） ・年齢35歳未満の者 ・他の奨学金との併給不可 ・財団主催の行事に出席できる者 ・年度末に定められた期限内にレポート等の提出ができる者 ・財団による選考の上決定

3. 日本学生支援機構奨学金（貸与の奨学金制度）

日本学生支援機構の大学院奨学金は、高度の研究能力を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる者を対象とした貸与奨学金です。第一種奨学金（無利子貸与）と第二種奨学金（有利子貸与）があります。

種類

奨学金の種類	利子	貸与の方法	支援期間
第一種奨学金	無利子	原則として毎月1回振込※	始期：採用年度の4月 終期：原則として、標準修業年限まで
第二種奨学金	有利子	原則として毎月1回振込※	始期：採用年度の年4月～9月の間で希望する月 終期：原則として、標準修業年限まで

※初回振込は、採用年度の6月中旬を予定しています。

貸与額

奨学金の種類	博士前期課程	博士後期課程
第一種奨学金	50,000円又は88,000円	80,000円又は122,000円
第二種奨学金	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から希望する月額を選択する。	

4. その他の奨学金

- ①獨協大学大学院応急奨学金（給付）
- ②日本学生支援機構奨学金緊急採用・応急採用（貸与）
- ③その他（自治体・財団・企業等奨学金）

7. 大学指定様式

【注意事項】

P.23～P.25にある出願書類のうち、大学指定様式と記載があるものについては、P.37以降の様式又はデジタル版の様式（大学ホームページからダウンロード）を利用してください。

「研究計画書」「修士論文又はこれに準ずる論文の概要」など行数・枚数等が定められている場合は、当該様式を複写（A4サイズ）して作成してください。その際、ページ番号を必ず入れてください。

受験
番号

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

– 37 –

獨協大学大学院入学志願票②

[illegible]

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

*1 P.11「専修科目及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

獨協大学大学院入学志願票③

【博士前期課程 外国語学研究科】

受験
番号

☐ Ⅰ期一般入試 ☐ Ⅱ期一般入試		外国語学 研究科 専攻			写真貼付欄 タテ 4cm×ヨコ 3cm ・上半身 ・脱帽 ・出願3ヶ月以内に撮影
フリガナ			前学籍番号(本学出身者)		
氏 名					
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年 齢 歳	国籍		
住 所	〒 メールアドレス:				
	TEL 自宅: 携帯:				
学 歴		学校名	学部・研究科名	学科・専攻名	卒業・修了年月
	大 学				年 月 卒業・卒業見込
	大学院				年 月 修了・修了見込
職 歴	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
教員免許状	交付(見込)年月日		免許状の種類	教科	交付都道府県
	年 月 日				
卒業論文題目 又はゼミテーマ	(指導教員名)				
志望する 研究分野*1			志望する 指導教員名*1		
<本学入学志望理由>					
博士前期課程 英語学専攻	保有する資格の番号に○をつけ、スコアを記入し、英語能力の証明書(コピー可)を添付すること (資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る)。				
	(1) TOEIC®Listening & Reading Test		点		
	(2) TOEFL iBT®テスト		点		
	(3) IELTS™				
	(4) 実用英語技能検定試験		級	CSEスコア	

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

*1 P.12～P.14「研究分野及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

獨協大学大学院入学志願票④

【博士前期課程 外国語学研究科】

受験番号

☐ Ⅰ期社会人入試 ☐ Ⅱ期社会人入試		英語学専攻（2年課程）			写真貼付欄 タテ 4cm × ヨコ 3cm ・上半身 ・脱帽 ・出願3ヶ月以内に撮影
フリガナ					
氏 名					
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年 齢 歳	国 籍		
住 所	〒 メールアドレス:				
	TEL 自宅:		携帯:		
学 歴		学校名	学部・研究科名	学科・専攻名	卒業・修了年月
	大 学				年 月 卒業
	大学院				年 月 修了・修了見込
職 歴	在籍期間		勤務先		入学後の身分
	年 月～ 年 月				継続 ・ 退職 ・ 休職 未定 ・ 勤務先より派遣となる
教員免許状	交付(見込)年月日		免許状の種類	教科	交付都道府県
	年 月 日				
志望する 研究分野*1				志望する 指導教員名*1	
<本学入学志望理由>					
出願資格	次のいずれかの資格を有する者（資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る） (1) TOEIC®Listening & Reading Test 850点以上取得 点 (2) TOEFL iBT®テスト 96点以上取得 点 (3) 実用英語技能検定試験 1級取得 ※保有する資格の番号に○をつけ、スコアを記入し、英語能力の証明書(コピー可)を添付すること。				

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

*1 P.13「研究分野及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

獨協大学大学院入学志願票⑤

【博士前期課程 外国語学研究科】

受験番号

☐ Ⅰ期社会人入試 ☐ Ⅱ期社会人入試		英語学専攻 英語教育専修コース（1年コース）			写真貼付欄 タテ 4cm ×ヨコ 3cm ・上半身 ・脱帽 ・出願3ヶ月以内に撮影
フリガナ					
氏 名					
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年 齢 歳	国 籍		
住 所	〒 メールアドレス:				
	TEL 自宅:		携帯:		
学 歴		学校名	学部・研究科名	学科・専攻名	卒業・修了年月
	大 学				年 月 卒業
	大学院				年 月 修了・修了見込
職 歴	在籍期間		勤務先		入学後の身分
	年 月～ 年 月				継続 ・ 退職 ・ 休職 未定 ・ 勤務先より派遣となる
教員免許状	交付(見込)年月日		免許状の種類	教科	交付都道府県
	年 月 日				
志望する 指導教員名 ^{*1}					
<本学入学志望理由>					
出願資格	次のいずれかの資格を有する者（資格取得日が、出願締切日から遡って2年以内に限る）				
	(1) TOEIC® Listening & Reading Test 850点以上取得 点				
	(2) TOEFL iBT®テスト 96点以上取得 点				
	(3) 実用英語技能検定試験 1級取得				
	※保有する資格の番号に○をつけ、スコアを記入し、英語能力の証明書(コピー可)を添付すること。				

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

^{*1} P.16「研究分野及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

獨協大学大学院入学志願票⑥

【博士後期課程 外国語学研究科】

受験
番号

博士後期課程入試		外国語学 研究科			専攻	写真貼付欄 タテ 4cm × ヨコ 3cm ・上半身 ・脱帽 ・出願3ヶ月以内に撮影
フリガナ				前学籍番号(本学出身者)		
氏 名						
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年 齢 歳	国籍			
住 所	〒 メールアドレス:					
	TEL 自宅: 携帯:					
学 歴		学校名	学部・研究科名	学科・専攻名	卒業・修了年月	
	大 学				年 月 卒業	
	大学院				年 月 修了・修了見込	
職 歴	年 月～ 年 月					
	年 月～ 年 月					
教員免許状	交付(見込)年月日		免許状の種類	教科	交付都道府県	
	年 月 日					
面接試験の形式 (該当する形式に✓)		☐ 対面面接を希望する		☐ オンライン面接を希望する		
卒業論文題目 又はゼミテーマ		(指導教員名)				
修士論文題目		(指導教員名)				
志望する研究分野*1				志望する指導教員名*1		
<本学入学志望理由>						
英語学専攻 出願資格	英語学専攻志願者は、保有する資格の番号に○をつけ、スコアを記入し、英語能力の証明書(コピー可)を添付すること(資格取得日が出願締切日から遡って2年以内に限る)。 (1) TOEIC®Listening & Reading Test 850点以上 点 (2) TOEFL iBT®テスト 96点以上 点 (3) 実用英語技能検定試験 1 級					

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

*1 P.21「研究分野及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

獨協大学大学院入学志願票⑦

受験
番号

☐ 博士前期課程Ⅰ期一般入試 ☐ 博士前期課程Ⅱ期一般入試 ☐ 博士後期課程入試		経済学 研究科 経済・経営情報 専攻			写真貼付欄 タテ 4cm ×ヨコ 3cm ・上半身 ・脱帽 ・出願3ヶ月以内に撮影
フリガナ			前学籍番号(本学出身者)		
氏 名					
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年 齢 歳	国籍		
住 所	〒 メールアドレス:				
	TEL 自宅:		携帯:		
学 歴		学校名	学部・研究科名	学科・専攻名	卒業・修了年月
	大 学				年 月 卒業・卒業見込
	大学院				年 月 修了・修了見込
職 歴	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
教員免許状	交付(見込)年月日		免許状の種類	教科	交付都道府県
	年 月 日				
受 験 科 目	博士前期課程	外国語科目(外国人学生のみ)		入学後の志望専攻科目(志願者全員)	
		☐ 英語	☐ 日本語		
	博士後期課程	筆記試験(外国人学生のみ)			
		☐ 英語	☐ 日本語		
卒業論文題目 又はゼミテーマ		(指導教員名)			
修士論文題目 (*博士後期課程 志願者のみ記載)		(指導教員名)			
志望する 専攻科目*1				志望する 指導教員名*1	
<本学入学志望理由>					

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

*1 博士前期課程はP.17、博士後期課程はP.22の「専攻科目及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

獨協大学大学院入学志願票⑧

【博士前期課程 経済学研究科】

受験番号

☐ I 期社会人入試 ☐ II 期社会人入試		経済学 研究科 経済・経営情報 専攻			写真貼付欄 タテ 4cm × ヨコ 3cm ・上半身 ・脱帽 ・出願3ヶ月以内に撮影
フリガナ					
氏名					
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年 齢 歳	国籍		
住所	〒 メールアドレス:				
	TEL 自宅:		携帯:		
学歴		学校名	学部・研究科名	学科・専攻名	卒業・修了年月
	高校				年 月 卒業
	大学				年 月 卒業
	大学院				年 月 修了・修了見込
職歴	勤務先			在籍期間	
				年 月～ 年 月	
				年 月～ 年 月	
				年 月～ 年 月	
				年 月～ 年 月	
				年 月～ 年 月	
教員免許状	交付(見込)年月日		免許状の種類	教科	交付都道府県
	年 月 日				
志望する 専攻科目*1				志望する 指導教員名*1	
< 本学入学志望理由 >					

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

*1 P.17の「専攻科目及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

獨協大学大学院入学志願票⑨

[illegible]

※太線内の受験番号以外は全て記入すること。

*1 P.17の「専攻科目及び指導教員」の表から選択し、記入すること。

(博士前期課程・博士後期課程 共通) P.23～P.25に記載の行数・枚数で作成すること(別紙添付可)。全 枚中 枚目

[illegible]

全 枚中 枚目

[illegible]

(外国語学研究科 博士後期課程出願者用)

研究業績リスト	フリガナ	
	氏名	
修士論文以外の研究業績がある者は以下に記載すること(雑誌論文、紀要論文、学会・研究会報告など)		
別紙添付も可		

(外国で学校教育を受けた者のみ／国籍問わず)

小学校から現在に至るまでの履歴書

課程	課程		フリガナ	
研究科名	研究科		氏名	
専攻名	専攻			
学歴 (小学校から最終学歴まで、入学・転学・卒業・退学等についてすべて記入すること)				
西暦年	月	異動内容	学校名 (国／都市名)	
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		

職歴 (職務経歴がある場合は記入すること)				
西暦年	月	異動内容	勤務先・部署名 (職務内容)	
年	月	入社・入職		
年	月	退職		
年	月	入社・入職		
年	月	退職		
年	月	入社・入職		
年	月	退職		

行数が足りない場合は、複写をして利用してください。記入にあたっては、P.62 の記入例を参考にしてください。

(外国で学校教育受けた者のみ／国籍問わず)

記入例

小学校から現在に至るまでの履歴書

課程	博士前期	課程	カガナ	ドッキョウ ハナコ
研究科名	外国語学	研究科	氏名	獨協 花子
専攻名	英語学	専攻		
学歴 (小学校から最終学歴まで、入学・転学・卒業・退学等についてすべて記入すること)				
西暦年	月	異動内容	学校名 (国／都市名)	
2007 年	4 月	☒ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学	〇〇市立××小学校 (日本／〇〇県〇〇市)	
2013 年	3 月	☒ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学		
2013 年	4 月	☒ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学	〇〇市立××中学校 (日本／〇〇県〇〇市)	
2016 年	3 月	☒ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学		
2016 年	9 月	☒ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学	***** High School (アメリカ／〇〇州)	
2020 年	6 月	☒ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学		
2021 年	4 月	☒ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学	〇〇大学××学部△△学科 (日本／〇〇県〇〇市)	
2025 年	3 月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☒ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学	【補足】 語学学校、専門学校等の教育機関に在籍したことがある場合も、併せて記入してください。	
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		
年	月	☐ 入学 ☐ 転学 ☐ 留学		
年	月	☐ 卒業 ☐ 修了 ☐ 退学 ☐ 卒業見込 ☐ 修了見込		

職歴 (職務経歴がある場合は記入すること)			
西暦年	月	異動内容	勤務先・部署名 (職務内容)
年	月	入社・入職	
年	月	退職	
年	月	入社・入職	
年	月	退職	
年	月	入社・入職	
年	月	退職	

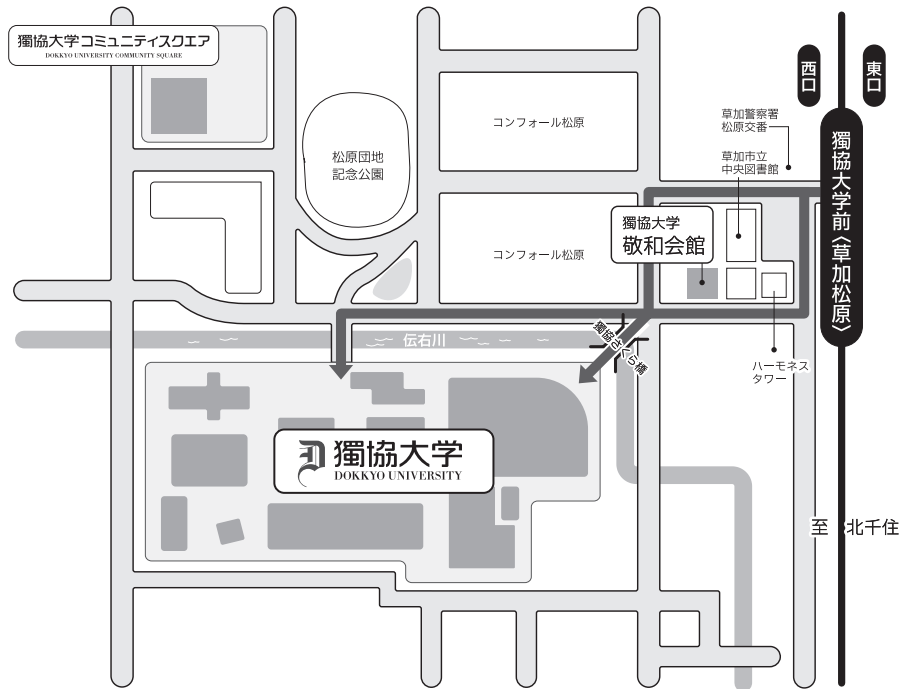
行数が足りない場合は、複写をして利用してください。記入にあたっては、P.62 の記入例を参考にしてください。

ACCESS

東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通

東武スカイツリーライン「獨協大学前〈草加松原〉」西口より徒歩5分

注：本学は、自動車・オートバイでの来校を原則禁止しています。公共交通機関をご利用ください。



キャンパス案内図

